

千谷川町内会から茶郷川治水協議会あてに 「輪中問題に関する質問書」が提出されました

12月9日、千谷川町内会から治水協議会あてに「輪中問題に関する質問書」が提出されました。輪中問題とは、島田地区に茶郷川の放水路が整備された場合に、千谷川町内の一部が堤防などに囲まれることで町内の景観が変わったり、豪雨の時に浸水被害の危険が増したりするのではないかと、千谷川にお住まいの方々が不安に思っている課題のことです。

「輪中問題は、放水路予定地の地権者だけでなく、町内全体の問題である」というご意見を受けて、千谷川町内会全体でどのような問題点があるかを考え、取りまとめたのが今回提出された質問書です。

この質問書に対して、治水協議会は2月10日に書面で回答しました。



参考：吉津川の輪中堤(三条市)

輪中堤(わじゅうてい)

ある特定の区域を洪水の氾濫から守るために、その周囲を囲むようにつくられた堤防のことです。

質問書の内容と治水協議会の回答（抜粋）

Q：堤防により景観が悪くなるのではないかと。

A：事業主体となる県に、植栽等により景観や環境の維持に配慮するよう働きかけます。

Q：放水路の整備は、他の場所では駄目なのか。

A：治水効果と費用を考えると、信濃川に近く、改修延長が短い現計画位置が最適だと考えます。

Q：増水時の信濃川からの逆流対策は。

A：信濃川の堤防と同じ堤防高にして、逆流による氾濫を防ぎます。

Q：放水路の維持管理は誰がするのか。

A：県が維持管理を行います。

Q：町内が分断されることはないか。（人の移動、精神的なもの、物流）

A：それぞれ具体的な内容を県に伝え、解決策を検討していきます。

Q：集中豪雨時の避難経路、避難場所は。

A：市の危機管理課から各町内にお知らせ

します。

Q：降雨時の排水対策は。

A：通常時は道路側溝から自然流下により新たに整備される茶郷川の放水路へ排水します。豪雨時は茶郷川の水位上昇により排水できなくなるおそれがあるため、ポンプ等の排水施設による排水が必要だと考えています。

Q：輪中堤地内の人口減少を招くのでは。

A：土地区画整理事業によりスーパーやホームセンターが出店することで利便性が向上し、世帯数や人口の増加につながると考えます。

Q：既存の農業用水の確保はできるのか。

A：必要水量の確保は可能と考えています。

Q：堤防により交通に不便が生じるのではないかと。

A：土地区画整理事業では、島田地区の中央を南北に走る農道をこの地区の幹線道路として全幅12.5mで整備することとしています。

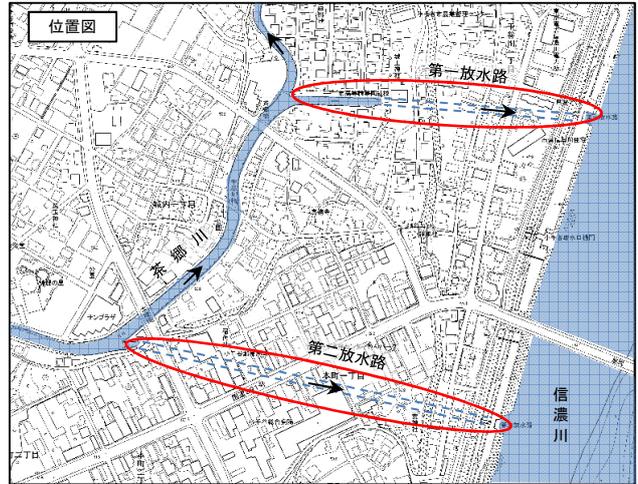
茶郷川第二放水路の補修工事、 第一放水路の詳細調査を行いました

茶郷川にある二つの放水路は、増水した茶郷川の水の一部を信濃川に排水して、下流の洪水被害を防ぐ役目をもつ重要な水路です。

昨年度に第二放水路のトンネル内部の詳細調査を行ったところ、ひび割れ等の劣化や、トンネル背面の空洞箇所が1箇所あることが判明しました。また、トンネルの強度は、20年前の調査からほとんど低下していないことがわかりました。

調査結果を元に、今年の1月から3月にかけて、ひび割れの補修や空洞箇所の充填等を行いました。

第一放水路については、今年度にトンネル内部の調査を行いました。調査結果は今年の3月末に出る予定です。



第一放水路 詳細調査の様子(レーダ探査)



第二放水路 工事の様子と補修後のトンネル壁面

茶郷川の河川監視カメラの画像が閲覧できます

茶郷川に県が設置した河川監視カメラの画像がインターネットで閲覧できます。
ホームページアドレス <http://www.live-cam.pref.niigata.jp/> からご覧ください。

